

奥高尾	明王峠から陣馬山を経て醍醐峠へ	No. 004
-----	-----------------	---------

昭和36年7月16日

井口、高橋、原と四人で行った。新宿駅発は6時20分か、7時05分発だったと思う。

相模湖駅で下車するともう強い陽差しだったので、7時05分発だったかもしれない。

駅前で麦わら帽子を売っていた。皆帽子らしい帽子などまったく持っていなかったの、買ったが、50円ぐらいだったように覚えている。先輩格である恩田がいないので、登山経験3回の私がリーダーシップを取らなければならない。5万分の一の地形図を見ながら、慎重に歩き始めた。

持っていた地形図はバージョンが古いもので、駅名がまだ「与瀬」と表記されていた。開通時の駅名は「与瀬」だったが、昭和31年に相模湖と改称した。

甲州街道を藤野方面へ歩き、与瀬神社への道に入る。神社を抜けるとすぐに孫山(543m)への急登が始まった。相模湖駅は海拔200m、朝一番からの急激な上りで、暑い陽差しも加わり、かなりの疲労だった。

ところどころで立ったままで呼吸調整をしてもなかなか回復せず、ついに道端に腰を下ろしての小休止が多くなった。孫山の次は633mの小ピーク、そこからさらに高度を上げて739mの明王峠へ。皆ここまでで体力を使い果たした感じで、昼食と大休止。

原君が青ざめた顔になってしまったが、食事と大休止で無事回復したのは、さすが。

(右写真:明王峠への登りに閉口 左から 小林・原・高橋)

明王峠から主稜線を西に進み陣馬山へ。

陣馬山から北上して醍醐峠から東側の醍醐に下ったことは覚えているが、景色などについては覚えていない。にもかかわらず、沢沿いの下り道で猪の糞のような匂いを感じてドキッとしたことは明瞭に記憶がある。

何十年も経ってから記憶を辿りつつ、当時携行していた五万分の一地形図「五日市」と「上野原」を押し入れから出してきて確認して見た。自分が歩いた道は帰宅後に赤く塗っていた。醍醐峠から醍醐川の谷へ下り、醍醐・振宿・森久保の集落を抜けて、高留の集落まで赤線が引いてあった。つまり、ここまで歩いて来て、バスに乗って八王子駅へ出たということがわかった。登山四回目の駆け出しが、4人でよくこれだけの長丁場を歩けたものだと感心してしまった。

以上

後日譚であるが、

2023年の地形図等で再確認してみた結果、我々の行程の終着点は、恩方第二小学校のやや下流の上恩方郵便局の前であることがわかった。わずかに下流には「夕焼こやけふれあいの里」という観光施設ができており、何年前にドライブしたことがある場所だった。

(修正・更新:2023年9月)

